

令和6年 年間スケジュール

稲作の計画 4月下旬から10月下旬までの約6カ月を基準、品種は「はるみ」

月	項目	実施要領	管理者の実施事項
4月	苗床の準備(畑苗)	田んぼの中に畑苗の畝を作る。	
4-5月	種もみの選別、播種、育苗	自宅で、塩水選、温湯消毒の実施、播種	
5月	耕運、代掻き、畦塗り	鍬又はスコップによる畦塗り、トンボによる代掻き(トラクターでの代かき終了後)	トラクターによる耕うん、代かき
6月	田植え、補植、草取り、茎肥	苗取、田植え、補植、除草機及び手取りの草取り 茎肥の実施	水管理
7月	稲の観察、畦の草刈り	1週間ごとの観察、担当部分の畦の草刈り	水管理
8月	稲の観察、穂肥(必要であれば)	1週間ごとの観察、穂肥に施肥(必要であれば)	水管理
10月	刈り取り、はざかけ、脱穀、粃摺り	手刈り、はざかけ(一部の稲のみ)、その他はコンバイン、乾燥機による乾燥、粃摺り	水管理
	秋起こし、蓮華の播種 水路、田んぼの補修、道具の手入れ	蓮華の播種、水路の泥上げ、畦の修復、道具の手入れ、清掃	トラクターによる秋起こし

講義の計画

稲作に関することを作業前、30分実施行います。作業が長時間の場合は行わないときがあります。

月	項目	実施要領
4月	・稲とはどのような植物か	・稲の生い立ちと特徴
5月	・晴海はどんなお米 ・苗について	・晴海はどのようにして生まれたか ・苗はなぜ作るのか
6月	・稲の分けつ、根について ・田んぼの草 ・施肥について	・稲の成長点の位置、分けつの順序、根の構造 ・稲の成長を阻害する田んぼに生える草 ・肥料のやり方
7月	・稲を食害する昆虫 ・水管理 ・稲の病気 ・光について	・稲を食害する昆虫、その防除 ・水の役割と管理のやり方 ・いもち病、もん枯病等の病気について ・光の役割
8月	・お米の登熟 ・お米の栄養 ・お米の生産性	・お米はどのような順序で登熟していくのか ・お米に含まれる栄養素 ・お米の生産性と連作障害
9月	・お米と単位 ・水路について ・古事記の中の稲作	・現代使用されている単位とお米との関係 ・田んぼの水路の役割 ・古事記の中の稲作
10月	・お米の伝来 ・二宮尊徳氏について	・お米はどのようにして日本に伝わったか ・二宮尊徳氏の農について